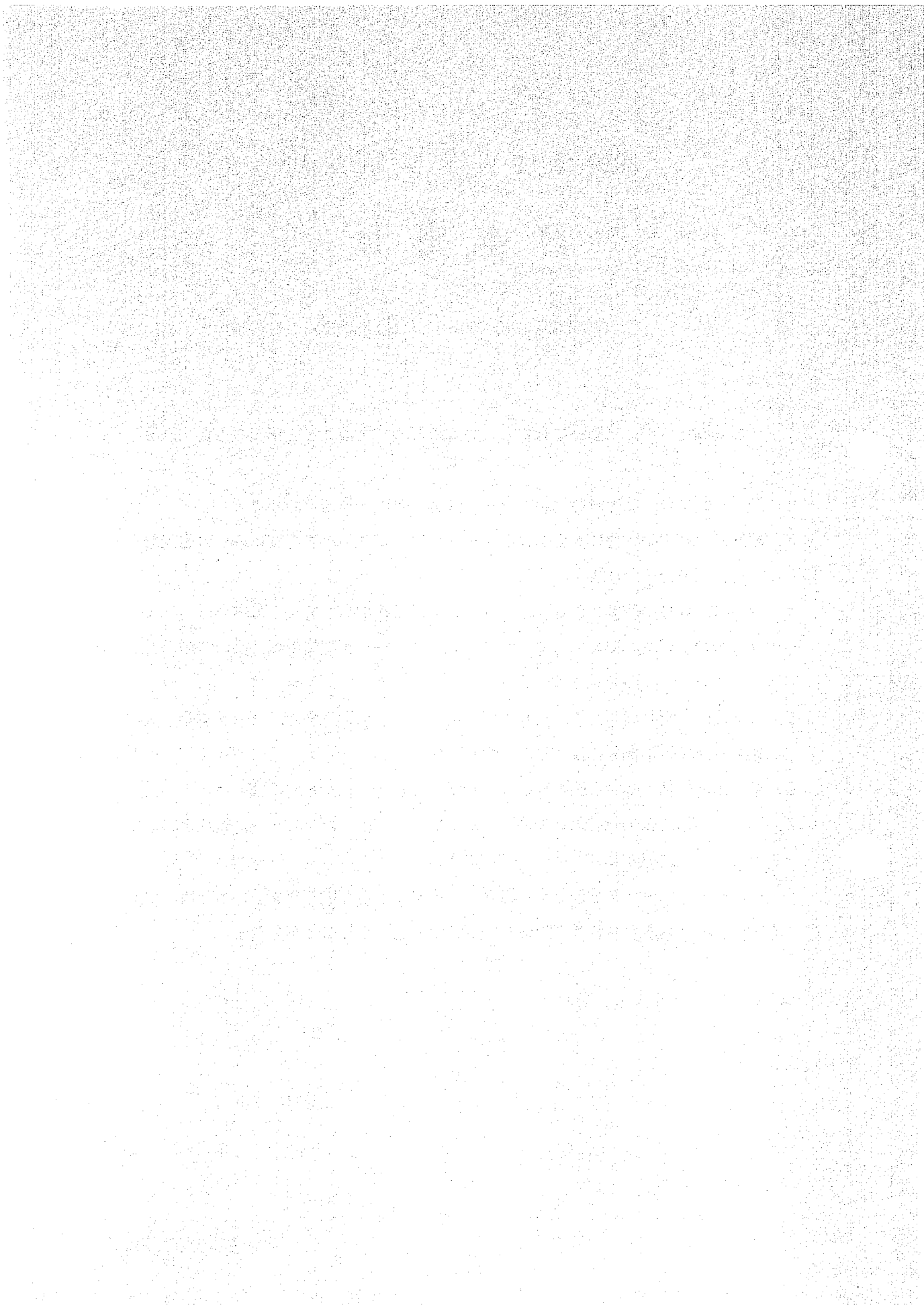


2019 年度 入学 試験 問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類があります。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないようにしてください。
8. 一度記入したマークを修正する場合、しっかりと消してください。消し残しがあると、マーク読み取り装置が反応して解答が無効となることがあります。



I 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問11はマーク解答用紙にマークしなさい。(36点)

地位や所領などの継承をめぐる制度・慣習は、古代から中世にかけて、社会情勢と密接なかかわりをもちながら大きく変化していった。

まず古代についてしてみると、家父長制的な家制度をもつ唐の律令の影響を受けてつくられた大^①宝律令は、基本的に父系が重視されていた。たとえば、五位以上の子(三位以上の子・孫)に対し、父(祖父)の^②位階に応じて一定の位が授けられる[1]の制では、政治的地位が父系で継承されるようになっていた。

ただし邸宅や所領などの相続においては、11世紀ころまで母系相続も少なくなかった。また、生まれた子どもは妻の実家で養育されるなど、母方との縁がきわめて深かった。10世紀後半から11世紀にかけて、藤原氏が摂政・関白を長期にわたってつとめ、天皇の権威を利用して権勢を誇ることができたのも、^③天皇の母方の親族である[2]という立場だったことが大きい。

しかし12世紀にはいると、財産は嫡子とその弟、女院の娘など一部の主だった子孫に相続が集中するようになり、徐々に嫡子[3]へと移行していく。

この傾向は鎌倉時代の武士社会でもみとめられる。^④[4]制では、宗家の首長が庶子たちを構成員として一族を統率し、幕府に対して軍役や公事などを引き受け、それを一族に配分賦課して奉仕した。財産はある程度の差をもたせながらも、嫡子のみならず庶子らにも[5]されるのが一般的で、女性であっても男性同様に財産が分配され、御家人や^⑤地頭になった例もあるなど、女性の地位は比較的高かった。

ところが、鎌倉時代末期には[5]の繰り返しによって所領の細分化が進み、^⑥貨幣経済の発達による影響も受け、^⑦困窮する御家人が増えていった。そのため、本人が生きているあいだけ所領の支配をみとめ、その死後は[4]に戻す相続形態である[6]が^⑧つくりだされ、女性の相続に多く適用されるようになった。

14世紀から15世紀にはいると、女性だけでなく庶子についても財産譲与されずに嫡子から扶持を受けるのみの存在となるなど、嫡子がすべての所領を相続する嫡子[3]が一般化していく傾向にあった。

こうして庶子家が家臣として従属するようになり、嫡子の立場が絶対的優位になる

と、家督をめぐる争いが増加していく。その最たる例として、15世紀中ごろに管領家である畠山・斯波両家の家督をめぐる争いと連動して、將軍継嗣問題が発生したことがあげられる。8代將軍足利義政の弟である義視と、子の義尚を擁立した義政の正室 とのあいだで対立が生じたのである。これらの家督争いに有力守護大名で が介入したことで対立はさらに深まり、やがて応仁の乱へと発展していくこととなる。

問1 文中の空欄 ～ に入るもっとも適切な語・人名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 大宝律令は文武天皇のときに、刑部親王や藤原不比等らによって制定された。
- b 大宝律令では、全国を畿内・七道に区分し、その下に国・郡・村をおいた。
- c 大宝律令では、中央行政組織のうち、神祇官が八省を統轄して政務を処理した。

問3 下線部②に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 官人は原則として、位階に対応する官職に任じられた。
- b 五位以上の位階をもつ官人は、貴族とよばれた。
- c 官人は位階に応じて、封戸とよばれる屋敷地が俸給として与えられた。

問4 下線部③に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 藤原道長の歌とされる「此の世をば我が世とぞ思ふ望月のかけたることも無しと思へば」は、道長の日記『御堂関白記』に記されている。
- b 後三条天皇は、藤原道長の娘である彰子を母とした。
- c 藤原道長の子頼通は、約50年にわたって摂政・関白をつとめた。

問5 下線部④に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 館をかまえた武士は、周辺部に佃・正作などとよばれる直営地を設けた。
- b 武芸を競う騎射三物とは流鏑馬・笠懸・犬追物のことをいう。
- c 当時の武士たちのなかで新しもの好きの気質をもつ者は、派手・ぜいたくを意味する「バサラ」の名でよばれた。

問6 下線部⑤に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 源頼朝は藤原泰衡追討のため、後白河法皇に地頭の設置を求め容認された。
- b 平氏政権のもとでも荘園や公領の現地支配者として、一部地域に地頭が設置されていた。
- c 文永・弘安の役をきっかけとして、西国に新たな地頭が多数おかれたが、これを新補地頭という。

問7 下線部⑥に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 当時、日本では貨幣を鑄造していなかったため、輸入された明銭が錢貨として用いられた。
- b 各地の湊には年貢米など物資の保管・輸送や取引を業務とする問（問丸）が発達した。
- c 遠隔地の取引には、安全のため金銭の輸送を手形で代用する為替を用いることもあった。

問8 下線部⑦に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 幕府や荘園体制に不満をもつ御家人たちは、土一揆を結成して強盗や放火などを行った。
- b 1297（永仁5）年に鎌倉幕府は、御家人の窮乏を救済する目的で徳政令を發布した。
- c 困窮する御家人たちの不満は、倒幕運動へと発展し、各地の武士へ挙兵をよびかける以仁王の令旨がだされた。

問9 下線部⑧に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 義政の念持仏を取めた東求堂同仁斎は、寝殿造を代表する建築物である。
- b 義政に仕えた同朋衆のなかには、作庭家の善阿弥がいた。
- c 武野紹鷗は、義政が将軍の時代に禅の精神を取り入れた侘茶を創出した。

問10 下線部⑨に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 守護大名の任国では、荘園や公領の領主が年貢徴収を守護に請け負わせる守護請がさかんにおこなわれた。
- b 守護大名の支配体制を守護領国制とよぶ。
- c 足利義満は、有力守護である大内義弘らを討伐して、幕府への権力集中をはかった。

問11 下線部⑩に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 応仁の乱によって守護大名が領国を留守にしているあいだに、国々では守護代や有力な国人が力をのばしていた。
- b 応仁の乱で主戦場となった京都は、戦闘が約10年にわたって続き荒廃した。
- c 応仁の乱より前に、関東では鎌倉公方の足利持氏が、関東管領上杉憲実を謀殺したことをきっかけとして、戦国の世に突入した。

Ⅱ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1は記述解答用紙に答えなさい。問2～問6はマーク解答用紙にマークしなさい。(24点)

17世紀の中ごろになると、儒者を顧問にして藩政の刷新をはかろうとし、その一環として、藩士教育はもとより庶民教育にもつとめる藩主も現れた。たとえば、岡山藩主の [1] は熊沢蕃山を登用し、岡山藩には [2] 教場が設けられた。また、[1] は [3] 学校を創立し、庶民の子弟の入学も許した。この [3] 学校は、大坂の懐徳堂などとともに郷校（郷学）とよばれる教育機関である。

藩が、藩士や子弟の教育のために設立した [4] は、特に18世紀後半以降、急増した。[5]（上杉）藩の藩主上杉治憲（鷹山）によって復興された [あ] などがあげられる。

一般庶民の初等教育を担うものとしては、同じく18世紀後半に、寺子屋あるいは手習所の普及が進み、読み・書き・そろばんなどが教えられた。その一方、19世紀になると、より高等な教育機関である、学者などによる多くの私塾も開設された。[6] による咸宜園や、[7] が始めた適塾、吉田松陰の叔父が設立した松下村塾、シーボルトが開いた鳴滝塾などがある。これらの私塾は、全国から多くの塾生を集め、幕末から明治初めに活躍する人材を育てたのである。

問1 文中の空欄 [1] ～ [7] に入るもっとも適切な語・人名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 蕃山は、孔子・孟子の古典に直接立ち返ろうとする古学派に属する。
- b 蕃山は、武士土着論を説き、後には將軍徳川綱吉の側近柳沢吉保らに用いられた。
- c 蕃山の主著として『中朝事実』などがある。

問3 下線部②に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 大坂の懐徳堂では、後に『夢の代』を著した山片蟠桃が学んだ。
- b 京都の古義堂では、後に経世論を説いた野中兼山が学んだ。
- c 秋田の明徳館では、後に『出定後語』を著した富永仲基が学んだ。

問4 文中の空欄 に入る学校の名称を次のものから1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 明倫館
- b 造士館
- c 興讓館
- d 日新館
- e 弘道館

問5 下線部③に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 適塾に学んだ長州藩出身の大村益次郎は、後に洋式軍備にもとづく軍制改革に携わった。
- b 適塾に学んだ豊前中津藩出身の福沢諭吉は、甲申事変の後、「脱亜論」を発表した。
- c 適塾に学んだ越前（福井）藩出身の橋本左内は、安政の大獄で処罰された。

問6 下線部④に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a シーボルトは、帰国後、『日本』などを著した。
- b シーボルトが受けた国外追放の処分に関連して、幕府天文方高橋至時が処罰された。
- c シーボルトに学んだ高野長英は、後に『慎機論』を著し、モリソン号事件を批判した。

Ⅲ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1、問6は記述解答用紙に答えなさい。問2～問5、問7～問9はマーク解答用紙にマークしなさい。(40点)

① 1868年8月に明治天皇が即位の礼をあげ、翌9月には年号が慶應から明治に改められた。これに先立つ1867年10月、將軍徳川慶喜は朝廷に対して政権の返上を申し入れ、勅許を受けた。同年末には② の大号令によって幕府や摂政・関白などの朝廷の諸職が廃止され、天皇を中心とした国家体制の樹立が宣言されている。

こうして発足した新政権は、1868年閏4月に国家権力を中央官庁のもとに集中させるとともに、 の制度を模し、形式的ではあるが三権分立制を取り入れた。その後、1871年に断行された廃藩置県と同年に行われた官制改革の結果、中央政府機構は、、の3つの機関から構成されるとともに、その中枢機関であるのもとに各省をおく制度に改められた。これらのうち、立法上の諮問機関としての役割を担うことと定められたは、その後、1875年の大阪会議における議論の結果として廃止され、立法に携わる政府機関として新たにが設けられた。は帝国議会が創設されるまで、新法の制定と旧法の改正を審議することを基本的な役割とした。

このように立法にかかわる組織が形成されていく一方で、国内では法典や法制度の整備も順次進められていた。この時期には西洋の学問や技術の導入のために政府機関や学校に多くの外国人教師が雇用されていたが、法律の分野においてもこうした「お雇い外国人」の活躍は顕著であった。

このうち、法学者のは、1873年の来日以後、法律顧問として法を基にした法典の起草に携わった。これにより1880年には刑法と治罪法が公布された。その後も法典の編纂は進められ、1890年に民法、商法、民事訴訟法、さらに治罪法を改正した刑事訴訟法がそれぞれ公布されている。これらの法典のうち、民法は、その内容が国民道徳の基礎となる日本の伝統的な家族の結び付きを損なうものであると主張する論文(「民法出デ、忠孝亡ブ」)を発表した帝国大学教授のをはじめとする法学者や実務家らによって、強い批判にさらされた。施行の断行と延期をめぐる激しい論争の結果、民法は1892年に施行延期に追い込まれた。

憲法については、によって1880年には「日本国憲按」と題する草案が

作成されていた。民間においても、個人や団体などによって多くの憲法草案が作成されている。また、この時期の政府内部においては、議院内閣制の早期導入を主張する [5] が、国会の早期開設を主張する民権派と同調したとして罷免されている。その一方で政府は、漸進主義的な改革の方向を示すために勅諭によって国会^⑤の開設を公約するに至った。

政府ではその後、 [か] 流の憲法理論を参照する方針が採用されることになり、 [6] を中心として [7] ，伊東巳代治，金子堅太郎らが起草に着手した。これによって作成された草案は、1888年に設置された天皇の最高諮問機関である [8] によって審議され、1889年2月に大日本帝国憲法が發布された。これにより、天皇主権のもとで国会（帝国議会）、内閣、裁判所それぞれが天皇を補佐する体制^⑥が整えられた。

問1 文中の空欄 [1] ・ [2] ， [4] ～ [8] に入るもっとも適切な語・人名を漢字で、 [3] に入るもっとも適切な人名をカタカナで答えなさい。

問2 下線部①に関して、1868年に起こった出来事や同年に発せられた文書・法令の組み合わせとして、正しいものにはイ、誤っているものには口をマークしなさい。

- a 「五箇条の誓文」，「五榜の掲示」
- b 「京都から東京への首都移転」，「一世一元の制の採用」
- c 「神仏分離令」，「大教宣布の詔」
- d 「鳥羽・伏見の戦い」，「江戸城無血開城」

問3 下線部②に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 大政奉還に先立つ1862年の幕政改革では、松平容保が政事総裁職に、徳川慶喜が將軍後見職に、松平慶永が京都守護職に任命された。
- b 1866年に同盟を結んだ薩摩藩と長州藩は武力による倒幕をめざしたが、これに対してあくまでも公武合体の立場をとる肥前藩（佐賀藩）の藩主は、徳川慶喜に政権の返還を勧めた。
- c イギリスが薩摩藩や長州藩をはじめとした雄藩連合政権の実現に期待を寄せる一方で、フランス駐日公使のロッシュはあくまでも幕府支持の立場をとり、財政的・軍事的支援を続けた。

問4 文中の空欄 , , に入る国の組み合わせのうち、正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a あ：フランス お：ドイツ か：イギリス
- b あ：アメリカ お：フランス か：ドイツ
- c あ：ドイツ お：イギリス か：フランス

問5 文中の空欄 , , に入る語句の組み合わせのうち、正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a い：行政官 う：議政官 え：刑法官
- b い：総裁 う：議定 え：参与
- c い：正院 う：左院 え：右院

問6 下線部③に関して、大阪会議では、参議兼内務卿をつとめる政府要人と、会議の前年までに辞職して政府を去っていた2人の元参議が会談を行っている。これらの3人の氏名をあげつつ、2人の元参議はそれぞれどのような出来事がきっかけで辞職していたかを、60字～80字（句読点を含む）で記述しなさい。

問7 下線部④に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a クラークが初代教頭として招かれた札幌農学校は、主にドイツ式の畜産技術や農場制度を導入する目的で開校された。
- b 動物学者のモースは、1877年に大森貝塚を発見し、発掘・調査した。
- c フェノロサは岡倉天心とともに、日本美術への西洋美術技法の導入を基本理念とする東京美術学校の設立に尽力した。

問8 下線部⑤に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 1880年に、自由党を母体として、国会開設運動の全国的団体である国会期成同盟が発足した。
- b 国会開設を求める運動は、士族だけではなく、都市の商工業者のあいだにも広まっていった。
- c 第一回帝国議会の召集時には、政府支持の立場をとる党派の議員が、民党とよばれた反政府党派の議員を上回り全体の過半数の議席を占めた。

問9 下線部⑥に関する次の説明のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 各国務大臣は天皇から任命され、議会に対して個別に責任を負うものとされた。
- b 天皇のもつ文武官の任免や宣戦・講和・条約の締結に関する権限の行使には、議会は関与できなかった。
- c 予算案が不成立の場合には、政府は前年度の予算をそのまま新年度の予算とすることができた。

